



13
「白」

予定のない日というのは贅沢なものだ。

『あれをする』、『これをする』。正確には、『あれをしない』、『これをしていない』。日々そんな感じなので、ワクワクするような予定がある日というのは、そう多くない。何も予定がないならそれだけでプラス。そんな風にすら思える。

何もない日はそのまま、何も決めずに過ごす。朝いちばんの白湯を飲みながら、ぼんやり窓の外を見る。窓を開けて風の音を聞くと、なんとなく「今日なにしようかな」の答えが見つかる。

この前の休みが、そんな一日だった。

体調も天気も良好。それなら前々から気になっていたお店に行ってみよう。この春にオープンしたばかりで、ネットやローカルニュースでも取り上げられている人気店。お目当ては看板商品のマラサダである。南国ハワイの定番スイーツが、きっと休日のスロウな気分寄りそってくれる。

車にゆられ、軽い足取りで大通り沿いを歩き、店にたどり着いた。SNSで見えていたから初来店の感じがしない。これってあるあるなんだろうか。

扉には『OPEN』とあるが、何かがおかしい。人気店のはずなのに人がいない。店内に入るやいなや、店員さん

が、「すみません、マラサダ売り切れです」と、僕で何回目なのだろうか、申し訳なさど慣れた感じが混ざった調子で教えてくれた。（残念！でもあとでまた来れば買えるのかな……）おそらくみんな聞くのだろう、今日はもう作る予定がないと先回りして答えられてしまった。バターの香りで満ちた店内に、波のようにゆらぐリズムのハワイアン・ミュージックが響く。

静かにがっかりしている自分がいた。

失意の中、なんとか代わりの品を手に入れ、気持ちの切り替えを試みるが、頭のどこかで（マラサダがなあ）という思いがちらつく。足取りも重い。

でも、近くの公園でいい感じの芝生を見つけ、買ったホットドッグをかじりながら空を見ていたら、不思議とそのがっかりは和らいでいった。すこしカリッとした外側のパンは食べる前の僕の気持ちに似ていたが、中身は温かく、食べ進めるうちに体温が上がる感じがした。自分が思うより空腹だったのかもしれない。

ウキウキして、ちよつとがっかりして、それでもちゃんと美味しい何かに出会える。こういうのも休日の醍醐味だと思う。今日はこれで充分だと思った。

帰り道、少し冷たくなってきた風が休日の終わりを告げようとしている。わくわくしたり、落ち込んだりして歩いた道を車窓から眺めながら、気持ちはもう明日に向かっていた。

今抱えている課題・問題をどう料理してやろうか、考える。決めてしまうのではなく、思うだけ。そんな何色にも染まらない部分を持っていたいと思う。『あれをしないと』、『これをしてないと』。それらに塗りつぶされない、白い部分を。